



なぎがまCSだより 第8号

発行責任者 西村 厚志

下諏訪町ジュニア防災リーダー研修が開催されました。

平成29年7月29日(土)



大きな災害が、発生した時に、住民が避難する避難所で亡くなってしまったり、身体の方が悪化することを無くすために、安全に過ごせる避難所の運営方法を学びました。

この体験訓練では、小中学生だからこそ行える業務を体験することが出来ました。

参加した中学生は…『避難所に集まってきた年齢、性別などといった様々な条件をもとに、避難所の区割りをするのがむずかしかった。』と話してくれました。



下諏訪町総合防災訓練へ今年も子ども達が参加しました。

平成29年8月27日(日)

今年も8月27日(日)に、下諏訪町総合防災訓練が、赤砂崎で開催されました。

「地域の防災に小中学生も積極的に関わっていこう」という事で、大人に交じって中学生も、防災について学びました。



地域の防災訓練に子ども達が初めて参加しました。

平成29年8月27日(日)

10区で開催された、町内の防災訓練へ、初めて子ども達が参加しました。炊き出し体験や、応急処置の方法などを地域のみなさんと一緒に学びました。



これからは、お祭りだけでなく、防災訓練にも子ども達が積極的に参加することにより、子ども達も、いざという時には、頼もしいスタッフになるのだという事を地域のみなさんに理解して頂き、災害に強い街づくりに結びつく事と期待されます。

子ども達からも「非常時に使えることが学べてよかったです(6年生)」という意見も上がり、とても素晴らしい経験になったようです。

ジュニアリーダー研修会で自主性・協調性を学ぶ!

今年も「ジュニアリーダー研修会」が8月19日・20日の2日間、いずみ湖研修の家で行われました。この研修会では、「子ども達が自ら考え、仲間と意見交換し、協力し合い、そして行動していくことの重要性を学ぶ!」ことを目的としています。

今年も町内の小中学生 27 人が参加。下諏訪向陽高校の生徒会有志も研修会をサポートしてくれました。今回の研修を機に、子ども達がますます地域社会で活躍してくれることを期待します! 今回の研修会に参加した子ども達に感想を聞いてみました。



いざという時に役立つ知識が学べた!

応急担架作りを教えてもらい、家にあるものを使って担架を作れるなんて驚きました。いざという時に役立つ知識を教えてもらえたり、違う学年の人と協力するうちに仲良くなれたりしたので、参加してよかったです。

(島田 怜央君: 南小6年)



緊張したけどよい経験でした・・・

中学生や高校生と一緒に過ごすことは緊張したけど、1つのグループになってみんなで意見を出し合いながらいろいろ決めていくことはとても勉強になりました。グループのみんなと食材の買い物に行き、一緒にお料理したことが楽しかったです。(梅津 朱莉さん: 南小6年)



地域連携部の掲示板をご覧ください

なががまCS地域連携部の掲示板が下中、南小それぞれの職員室前に設置されています。各地区で発行される広報誌、行事の案内等が掲示されています。学校に行かれる機会がありましたら、ぜひこの掲示板をご覧ください。

(南小の地域連携黒板→)



生演奏で本物の芸術を堪能



南小の高学年は7月にピアノとドラムのOBSESSIONを、そして9月に諏訪カルテットさんによる弦楽四重奏の生演奏を鑑賞しました。

イルミネーション点灯式 7月23日(日)



子ども達が作り上げた、素晴らしいイルミネーションを、今年も赤砂崎で見ることが出来ました。今年も下中と社中の美術部が共同作品として見事な秋宮を作り上げました。

下中登山ボランティア

なががまCSの募集で登山ボランティアがあったので希望しました。元気の良い生徒達と中学時代を思い出しながら、楽しく登ることができました。来年は、地域全体に募集をするそうです。みなさんも参加してみませんか?

